

平成25年10月29日
運輸安全委員会

航空事故調査に関する情報の提供について

国土交通省航空局へ本日以下のとおり、情報提供を行いました。

1 航空事故の概要

個人所有の富士重工業FA-200-160型JA3492は、平成25年9月23日、大利根飛行場を14時15分に離陸し、飛行中、千葉県八千代市上空においてエンジン出力の低下が認められたため、千葉県八千代市尾崎の稲刈り後の水田に14時25分ごろ不時着した。

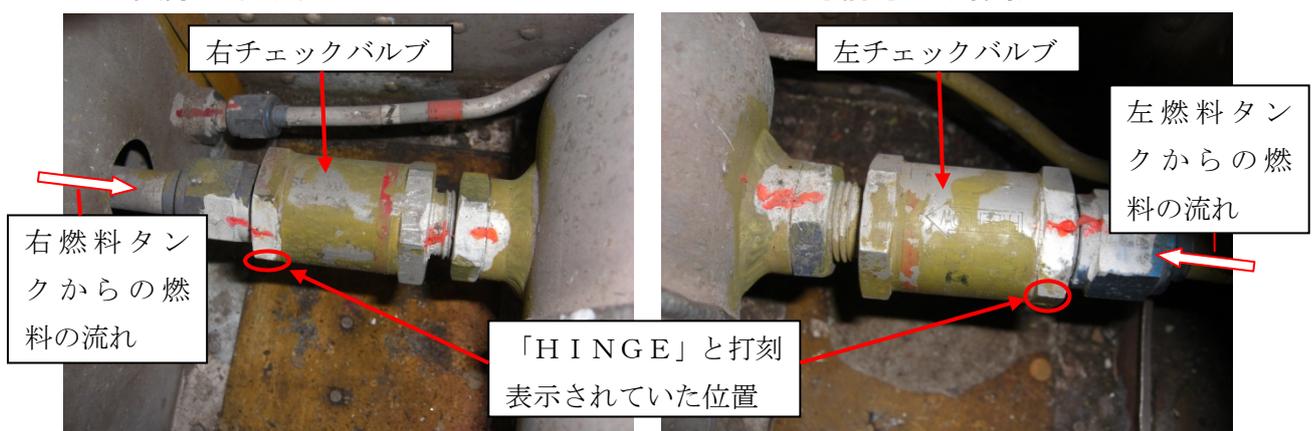
2 情報提供

現在までの調査の過程で一部の部品が不適切に取り付けられていたことが判明した。

当該型式機のサービスマニュアル^{*1}には注意事項として『#100号機迄の機体の燃料入口に取り付けられるチェックバルブ^{*2}は「HINGE^{*3}」と表示されている側を上側に取り付ける。』と記載されているが、当該左右のチェックバルブは本来の位置から90°～120°程度、横向きに取り付けられていた。

なお、当該事項が本事故に直接関与したかどうかについては、引き続き調査中である。

● 実際に取り付けられていたチェックバルブ（上方前方より撮影）



注

*1) サービスマニュアル：機体メーカーが発行した当該型式機の整備点検に関する手順などが記載された書籍

*2) チェックバルブ：逆流防止弁

*3) HINGE：蝶番（ちょうつがい）